

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

静岡県知事殿

静岡市駿河区石田1丁目3番29号  
大和ハウス工業株式会社静岡支店

提出者

支店長 興梠 一喜

住所 静岡県沼津市寿町5番7号

氏名 大和ハウス工業株式会社静岡支店沼津営業所  
支店長 興梠 一喜

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 055-923-8182

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社静岡支店沼津営業所
事業場の所在地	静岡県沼津市寿町5番7号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06：総合工事業 (日本標準産業分類中分類(コード含む))
②事業の規模	元請完成工事高： 946,308万円/年
③従業員数	94人 (前年度の3月31日時点の従業員数)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>新築工事、増改築工事、解体工事 ：がれき類→再生利用業者に委託して再生碎石として再資源化 木くず→再生利用業者に委託してチップとして再資源化 廃プラスチック類→再生利用業者に委託してRPF燃料として再資源化 金属くず→再生利用業者に委託して金属原料として再資源化 紙→再生利用業者に委託してRPFとして再資源化 ※上記の品目で1部再資源化不可のものは埋立あるいは単純焼却</p> <p>自社工場製品 ：がれき、混合物以外は13品目に分別し自社工場へ一括回収し、品目別に中間処理・再生利用業者に処理委託し再資源化</p>

（日本工業規格 A列4番）

## (第2面～第5面) 種類・数量 添付別表

## 令和 5 年度 産業廃棄物処理計画実施状況(実績)

(単位:t)

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属 くず	ガラス 陶磁器	がれき類	木くず	紙くず	繊維 くず	廃油	合計	
令和5年度の実績	①排出量	200.4	97.2	130.4	228.4	3,026.7	143.2	35.6	1.9	0.0	3,863.8
	②+⑧自ら再生利用を行った量	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
	⑤自ら熱回収を行った量	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
	⑦自ら中間処理により減量した量	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
	⑩全処理委託量	200.4	97.2	130.4	228.4	3,026.7	143.2	35.6	1.9	0.0	3,863.8
	⑪優良認定処理業者への処理委託量	200.4	0.0	130.4	116.4	2,993.2	113.7	35.6	1.9	0.0	3,591.7
	⑫再生利用業者への処理委託量	200.4	0.0	130.4	215.9	2,993.2	143.2	35.6	1.9	0.0	3,720.7
	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	96.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.7

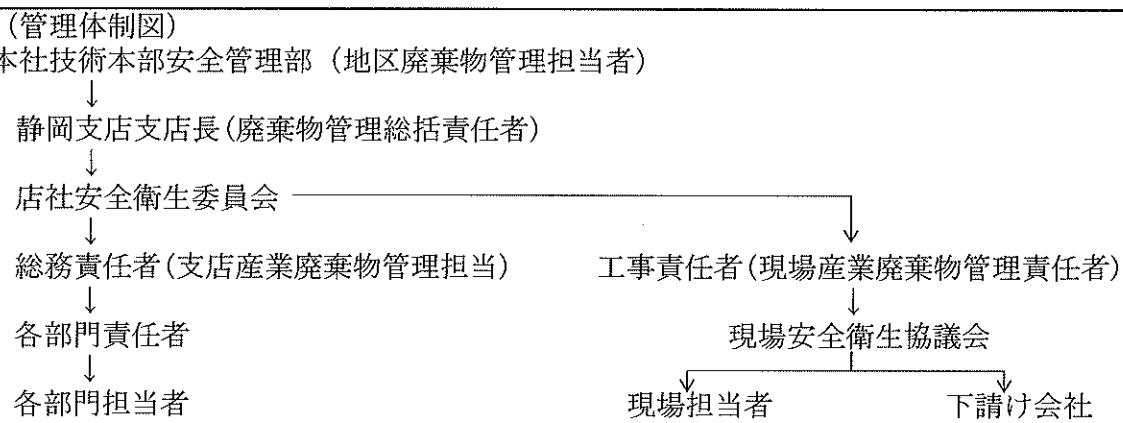
## 令和 6 年度 産業廃棄物処理計画(目標)

(単位:t)

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	金属 くず	ガラス 陶磁器	がれき類	木くず	紙くず	繊維 くず		合 計	
令和6年度の目標	①排出量	190.4	92.3	123.9	217.0	2,875.3	136.0	33.8	1.8	0.0	3,670.6
	②+⑧自ら再生利用を行った量	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
	⑤自ら熱回収を行った量	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
	⑦自ら中間処理により減量した量	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
	⑩全処理委託量	190.4	92.3	123.9	217.0	2,875.3	136.0	33.8	1.8	0.0	3,670.6
	⑪優良認定処理業者への処理委託量	182.8	0.0	86.7	195.3	2,444.0	122.4	33.8	1.8	0.0	3,066.9
	⑫再生利用業者への処理委託量	190.4	0.0	86.7	195.3	2,444.0	122.4	33.8	1.8	0.0	3,074.5
	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	88.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.6

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
① 排出量		
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	種類・数量は添付別表を参照
① 排出量		
(今後実施する予定の取組)		

1. 住宅系新築工事における当社商品の工業化  
 　・梱包材を極力簡素化して現場納入を実施、及び梱包材の再利用  
 　・石膏ボードや瓦、内装下地材のプレカット化  
 2. 建築系新築工事における一部工業化  
 　・外壁のパネル化

1. 住宅系新築工事における当社商品の工業化  
 　・梱包材を極力簡素化して現場納入を実施、及び梱包材の再利用  
 　・石膏ボードや瓦、内装下地材のプレカット化  
 2. 建築系新築工事における一部工業化  
 　・外壁のパネル化

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅系新築工事は15品目に分別</li> <li>・建築系新築工事は廃プラスチック、金属くず、木くず、紙くず、石膏ボード、ガラス陶磁器くず等5～7品目に分別している。</li> </ul>	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を継続し分別の精度向上を検討する</li> </ul>	

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】】	
	産業廃棄物の種類	
	② 自ら再生利用を行った + 産業廃棄物の量	種類・数量は添付別表を参照
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	② 自ら再生利用を行う + 産業廃棄物の量	種類・数量は添付別表を参照
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】】	
	産業廃棄物の種類	
	⑤ 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	種類・数量は添付別表を参照
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	⑤ 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	種類・数量は添付別表を参照
(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
①現状	③ 自ら埋立処分又は + 海洋投入処分を行った ⑨ 産業廃棄物の量	種類・数量は添付別表を参照
(これまでに実施した取組)		
・実施していない		
	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
②計画	③ 自ら埋立処分又は + 海洋投入処分を行う ⑨ 産業廃棄物の量	種類・数量は添付別表を参照
(今後実施する予定の取組)		
・実施する予定は無い。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
①現状	⑩ 全処理委託量	
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量		
⑫ 再生利用業者への処理委託量		
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量		
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託基準にしたがって処理委託基本契約の締結及び処理系統管理、マニフェスト発行など当社システムによる管理を実施。</li> <li>・可能な限り優良認定業者や再生利用業者への処理委託を行い、最終埋立処分量の低減をはかる。</li> <li>・委託業者の選定基準により書類・現地審査を実施し、合否の判定を実施している。現地確認も毎年継続して実施している。</li> <li>・eリバースを利用した電子マニフェストの実施。</li> </ul>		

		【目標】	
		産業廃棄物の種類	
		⑩ 全処理委託量	
		⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	
		⑫ 再生利用業者への処理委託量	種類・数量は添付別表を参照
		⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	
		⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
②計画		(今後実施する予定の取組)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託基準管理事項の継続</li> <li>・可能な限り優良認定処理業者を選定し再資源化率の向上を図る。</li> <li>・処理委託業者施設の定期現地確認を継続しておこなう。</li> <li>・再資源化率の向上を常に意識し、委託先と連携をとり、処理系統図の見直しを実施。</li> <li>・当社システムと連携した電子マニフェスト(eリバース)の推進。</li> </ul>	
※事務処理欄			